

# 雄物川における今後の河川事業の動き(ハード対策)

資料-3

- 雄物川では平成29年7月及び8月に発生した豪雨による甚大な被害への緊急的な対応として災害対策等緊急事業費(推進費)を活用して、**平成29年度より河道掘削(一般改修)や築堤(激特事業)を実施**している
- 浸水被害が発生した雄物川中流部における堤防整備等を**河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)**として概ね5年間で築堤や輪中堤等の整備を行い、河川の氾濫による家屋の浸水被害を解消するものである
- 今後本格化していく事業を強力かつ円滑に推進していくため、**平成30年1月1日付けで「雄物川激甚災害対策特別緊急事業 推進室」を設置**している

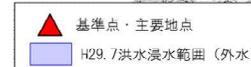
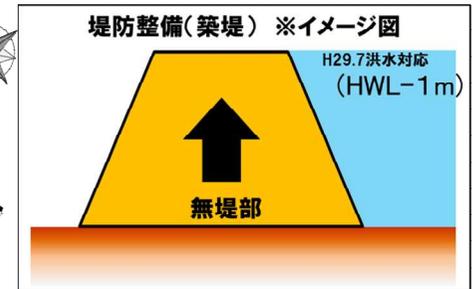
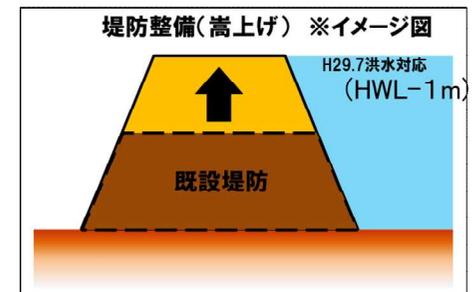


## 河川激甚災害対策特別緊急事業の概要

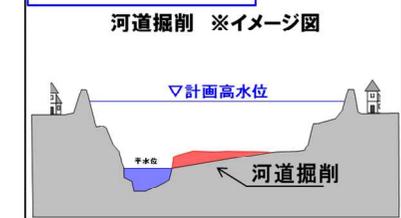
- **事業費** 約218億円 ※推進費を含む
- **整備内容** 堤防整備(築堤、嵩上げ)等
- **事業期間** 平成29年度～平成34年度

## 災害対策等緊急事業推進費の概要(一般改修)

- **事業費** 約17億円
- **整備内容** 河道掘削
- **事業期間** 平成29年度



**H29推進費(一般改修)**  
 河道掘削 170,000m<sup>3</sup>  
 事業費 1,720百万円



### H29補正(一般改修)

河道掘削 72,000m<sup>3</sup>  
 事業費 500百万円

### H29推進費(激特事業)

堤防整備(嵩上げ) 6,800m  
 事業費 580百万円

### H30当初(激特事業)

築堤・堤防整備(嵩上げ)、用地補償等  
 事業費 2,855百万円

## 激特推進室の設置(平成30年1月1日付)

